

浮世絵モダニ

深
水の美人！
巴水の風景！
そして…



橋小夢「唐人お吉」(1933年)
個人蔵



小早川清「ダンサー(レヴュー)」(1932年)
千葉市美術館蔵



小原古邨(祥邨)「雨中鳴図」(明治後期)
個人蔵



吉田博「瀬戸内海集 帆船 朝」(1926年)
個人蔵

浮世絵版画の超克を目指して大正初期に登場した「新版画」を中心とする、創作性の高い伝統木版を「浮世絵モダン」とネーミングして紹介します。

橋口五葉や伊東深水、川瀬巴水や吉田博など、多くの画家が大正から昭和初期の芸術思潮、流行の文化、世相などを強く意識しながら、伝統木版による新しい表現を模索し、「浮世絵モダン」の制作に意欲的に取り組みました。

本展覧会では、「女性」「風景」「役者」「花鳥」「自由なる創作」の全5章の構成で128点を展示し、同時代の芸術や社会などと共鳴して制作された「浮世絵モダン」に、画題がどのように表現されているかを検証します。

次回展示のお知らせ

2019 1.18[金] ▶ 2.19[火]

ルーヴル美術館の銅版画展 カルコグラフィコレクション

本展は、ルーヴル美術館カルコグラフィ室の銅版画コレクション約13,000点の中から、日本での特別公開のために当時の版を用いて刷られた銅版画約130点を展示します。長きにわたるルーヴルの歴史、ルネサンスから20世紀までの絵画の記録など、ルーヴルが収集し蓄積してきた知と情報、そしてなじみ深い名画の数々をお楽しみください。

■お車をご利用の場合／東名阪[四日市I.C.]より国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。 ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合／近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分、「大羽根園駅」下車、西へ300m。 ■全館バリアフリー、車椅子常備



UKIYO-E

浮世絵モダン



伊東深水「新美人十二番 口紅」(1922年)
町田市立国際版画美術館蔵



山村梨花(豊成)「梨園の華 七世松本幸四郎の勘六」
(1920年) 町田市立国際版画美術館蔵



川瀬巴水「東京二十景 芝増上寺」(1925年) 町田市立国際版画美術館蔵

深水の美人！
巴水の風景！
そして…

2018 12/6 (木) ~ 2019 1/14 (月・祝)

- 開館時間：午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 休館日：2018年12月24日(月・振休)～2019年1月1日(火・祝)
- 入館料：一般1,000円(4枚セット券3,000円)
大学生800円／高校生500円／中学生以下無料
- 主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム、中日新聞社
- 後援：朝日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送

関連イベント

- 記念講演会：2018年12月16日(日) 午後2時～ 講師 渡邊章一郎氏 (渡邊木版美術画館代表取締役)